

去る五月十五日(土)、十六日(日)の二日間にわたり、お茶の水女子大学において、日本保育学会の第二十九回大会が開かれた。日本保育学会は、昭和二十三年に倉橋惣三が保育の科学的研究の必要を唱えて発足し、当初数年間は、お茶の水女子大学の付属幼稚園を会場として大会が開かれた。そのような小さな会合が、本年は千六百名をこえる参加者により、十の研究発表会場で開かれ、講堂は常に満員の盛会となったことは、時代の推移を思わされる。

本年はとくに、東京女子師範学校に、幼稚園が創設されて百年にあたる年なので、百年記念の特別プログラムがいろいろ行なわれた。附属幼稚園の遊戯室では、保育史の資料展示があり、お茶の水女子大学の図書館及び附属幼稚園より、武村耕靄の筆になる有名な『保育の図』をはじめ、『恩物大意』、明治二十八、九年の保育の手記、下田たづの分室の記録

などが展示された。また、全国各地より、明治時代の保育日誌、卒業証書、写真などふだん見ることのできない貴重な保育史の資料が数々出品された。恩物の実物が、玉成とお茶大と両方から出品されたが、こまかい点で材料などに相異があり、日本での変容の様子を見ることができて興味深かった。

山下俊郎、荳司雅子、城戸幡太郎氏らの記念講演に引きつづき、スライドによって日本の保育百年の歩みの上映があり、明治大正時代の幼稚園の建物など見ることができた。保育の実践では、いまをいかに把握するかが重要であるが、それはいま始まったことではなく、昔から先輩の工夫してきたことを基礎にすえての今であることを改めて考えさせられた。百年の歴史をもって、われわれは、いまや先人の実践し、考えたことを、じっくりと考えつつ歩むことのできる時であると思う。

(津守)

幼児の教育 第七十五巻第八号

八月号 © 定価二〇〇円

昭和五十一年七月二十五日印刷
昭和五十一年八月 一 日発行

112 東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

112 東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ二二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館にお願いいたします

*万一製品不良本がございましたら、おとりかえいたします。